

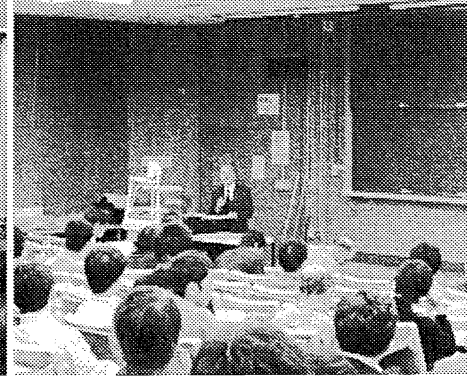
Ⅱ 京大数理解析研究所 Ⅱ

日本数学会と共催で第1回「高木レクチャー」

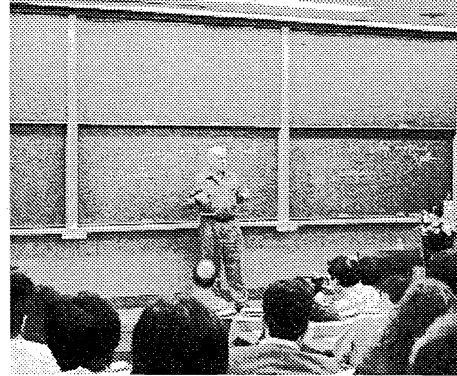
11月25日・26日の2日間にわたり、日本数学会と京都大学数理解析研究所の共催で第1回「高木レクチャー」が錦秋の京都にて開催された。

「高木レクチャー」は、数学者の名前を冠した定期的な講演会として日本で最初のもの

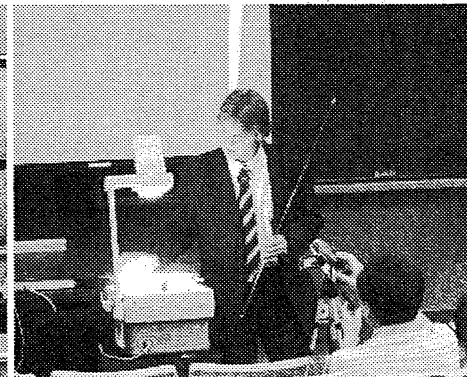
で、本年3月に日本数学会が創設した。毎年、世界から卓越した数学者を日本に招き、気概に満ちた研究総説講演を若手研究者・大学院生を含む専門分野を超えた数学者が聴くことにより、創造のインスピレーションを引き起こし、新たな数学の発展に寄与することを目的としている。



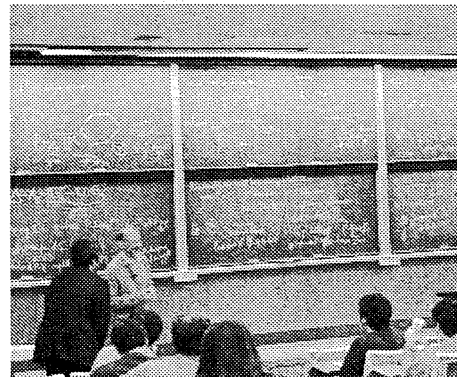
挨拶する小島日本数学会理事長



スマイル教授



リオンス教授



ブロック教授

その初回である今回は、スマイル教授(豊田工大シカゴ校・シカゴ大学、1966年フィールズ賞受賞)、リオンス教授(コレージュ・ド・フランス、1994年フィールズ賞受賞)、ヴォワザン教授(CNRS)、ブロック教授(シカゴ大学)の4名の著名な研究者の2日間にわたる連続講演が行われ、全国から参加した約140名の研究者が熱心に聴講した。当日は、講演予稿が無料配布された。各講演をもとにした研究総説論文は、日本数学会の欧文学術誌「JJM(日本数学会誌)」に厳正な査読を経て掲載される予定である。第2回は来年5月末、東京大学での開催が予定されている。